

## 令和7年度 第3回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和8年3月27日（金）10時00分から12時00分まで
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 議会特別会議室
- 3 出席者 **【委員】**（敬称略）  
木宮 敬信、祝原 豊、田村 元延、深澤 陽介、伊藤 省吾、  
内川 久雄、笹本 とよ子、高津 健一、天野 温紀、牧田 裕介、  
森 菜月  
**【事務局】**  
（スポーツ振興課）  
能口スポーツ振興課長、池田施設担当課長、三矢課長補佐兼企画係  
長、宮川施設第1係長、鷺澤施設第2係長、島田市民スポーツ推進係  
長、深澤スポーツツーリズム推進係長、栗田ホームタウン推進係長  
鈴木主査、齋藤主任主事、梅原主任主事、萩原主事  
  
欠席者 加藤 綾子、大島 友佳里、鈴木 健司、山城 史人、
- 5 傍聴者 0名
- 6 報告事項 (1) 令和8年度スポーツ関連予算について
- 7 協議事項 (1) スポーツ基本法第35条に基づくスポーツ団体に対する  
補助金交付について  
  
(2) 第3期静岡市スポーツ推進計画の策定について

## 8 会議概要

### 司会（三矢）

<開会>

- ・配布資料の確認
- ・深澤委員の紹介
- ・会議成立（委員半数以上の9名出席により会議成立）
- ・会議の公開について、事前の傍聴希望者：0名
- ・当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する<異議なし>

### 説明事項（1）令和8年度スポーツ関連予算について

#### 【資料】

#### 鈴木主査

各係長から事業ごと説明

#### 鷺澤施設第2係長

- ・ユニバーサルスポーツ聖地化推進事業「屋内運動場の整備」

#### 島田市民スポーツ推進係長

- ・ユニバーサルスポーツ聖地化推進事業「ユニバーサルしずおか（静岡市パラスポーツ協会）の活動支援」

#### 深澤スポーツツーリズム推進係長

- ・静岡マラソン開催事業

#### 鷺澤施設第2係長

- ・清水庵原球場改修事業、清水清見潟公園スポーツセンターバリアフリー等改修事業

#### 栗田ホームタウン推進係長

- ・ホームタウン推進事業

#### 宮川施設第1係長

- ・（仮称）三保グラウンドゴルフ場整備事業

<委員からの質問・意見>

特になし。

### 協議事項（1）スポーツ基本法第35条に基づくスポーツ団体に対する補助金交付について

#### 【資料】

#### 島田市民スポーツ推進係長

資料2を用いて説明。

## <委員からの質問・意見>

特になし。

## 報告事項（２）第３期静岡市スポーツ推進計画の策定について

### 【資料】

鈴木主査

資料３に沿って説明

## <委員からの質問・意見>

木宮会長

市民意識調査の冊子はどのように配っているか、また配る予定なのか。

鈴木主査

調査協力をしてもらった小中学校に配布している。市HPに掲載予定。

木宮会長

今後やりたいスポーツとかがわかる資料なので、民間企業も欲しがるのではないかと。HPにたどり着くのが大変なので、市内のスポーツクラブ等に配った方が活用してもらえるのではないかと。

深澤委員

最重要課題として考えているのは、どの層になるのか教えてほしい。

鈴木主査

ユニバーサルスポーツの聖地化としての観点だと、全世代になるが、「スポーツ実施率を上げる」という意味では子育て・働き盛り世代が中心になると思われる。

三矢課長補佐

市全体として、20代など明確にメインターゲットを絞って施策をしていくといった言い方はしていない。

木宮会長

子育て・働き盛り世代の女性には、美容目的でスポーツを行っている人もいます。そういった方々を巻き込んでいきたい。

## ワークショップ

- ・各班に分かれてグループワークを実施。

1班：鈴木主査

- ・静岡市の課題を明確に打ち出し、興味関心のある企業を集めることが重要。
- ・企業への運動アプローチについては、実質的に経営者へのアプローチとなる。運動の実施が、生産性の向上等につながっていることが分かるデータがあれば、運動実施に前向きに考える企業は多くなると考えられる。

- ・大学生の授業の空き時間も、運動機会の創出につなげやすい。敷地内にジムがある大学では、学生無料で経営をしている。学生としては、運動実施がしやすい環境になるのに加え、ジム側も卒業後の顧客確保につなげることができる。

## 2班：森委員

- ・文化的なスポーツの考え方  
スポーツ＝汗をかく だけでなく、みる・ささえるというかわり方
- ・年代を超えたスポーツの実施  
子どもに対して親しみの無いスポーツを大人と一緒に実施することや、企業にスポーツをする枠組みの整備、家の中で「みる」スポーツ、近くの公園まで歩くといった簡単な運動の周知
- ・就職活動の一環でスポーツを交えるやり方  
会社でスポーツイベントを行う、チームのチケットが当たる等の福利厚生が、企業を選ぶひとつの理由となる。また、ボランティア活動をしながら企業とマッチングできる機会があれば採用の観点からも、学生と企業が互いに知る良い機会となる。
- ・永続的でなく、自走化した施策  
静岡市が永続的に支援するのは無理がある。企業同士で行えるような体制を整える必要がある。

## 3班：田村委員

- ・データの活用  
データのオープンソース化により、企業の資料としても活用してもらう。
- ・人材の育成、施設の有効活用  
既に企業が持っている施設、空いている土地を利用して、スポーツができる場所を設ける。
- ・コミュニティ形成の確保  
スポーツの実施だけでなく、周りの人との会話が楽しめることで、スポーツを通して皆が集まり、交流ができる場所確保する。
- ・地域に根ざしたスポーツの形成。  
地域のお祭り等の一角に、ホームタウンチームによる体験教室を開催するといった地域とスポーツを結びつける取組の実施。

## 木宮会長

同じようなことを全国どこの市町でもやっている。他都市の良いアイデアを取り入れていくことも重要。スポーツに興味のある人への環境の整備は整っている。「やる気はなかったけど気づいたらスポーツしていた人」のように、いかに行動変容を起こし、やっ

うか考えていきたい。

以上

令和7年度 第3回静岡市スポーツ推進審議会の審議内容について、  
上記のとおり相違ありません。

令和8年3月31日

静岡市スポーツ推進審議会 会長 常葉大学教授 木宮 敬信